

2025

6/27 8/28
金 木

両日13:30スタート

一般財団法人省エネルギーセンター

東海支部

LIVE

配信講座

「省エネ・脱炭素戦略を 発揮する企業の事例紹介！」

2030年度の温室効果ガスを2013年度比で46%削減することが設定されています。これまで以上に省エネ、GHG削減を行っていく必要がありますが、製造業ではここ10年で5%程度の低減でありカーボンニュートラルへの道は険しいと言わざるを得ません。一方企業単位では毎年1%以上のエネルギー消費原単位の削減を着実に実現している企業もあります。

今回、令和6年度省エネ大賞受賞企業様に、先進的な省エネ技術の採用、社内組織を横断した斬新な取り組み、データに基づいた分析など、バリエーションも豊富な内容を具体的に紹介いただき、カーボンニュートラルの取り組みの参考にさせていただきたく開催いたします。

**6月27日(1回目)
カリキュラム**

内容やタイトルが変更になる場合があります。

**定員
100名****講演1**

13:30～14:00

**「工場低温排熱と再生可能エネルギーによる
工場の脱炭素化」**

講師：未来工業株式会社
大和ハウス工業株式会社
株式会社大阪テクノクラート

省エネルギーセンター会長賞
地中熱(井水熱)と生産設備の低温排熱を、水冷ヒートポンプで工場内の冷暖房や生産過程の冷却に効率的に活用する「地中熱・排熱利用 熱供給システム」を構築した。

講演2

14:05～14:35

**「圧縮エアレス小型ハイブリッド式ドライエア
生成装置～専門メーカーとの共同開発～」**

講師：株式会社デンソー エレクトロニクス製造部

省エネルギーセンター会長賞
エネルギーロスの大きいドライエア生成を電化することでCO2排出量削減に取り組んだ。デシカント方式の除湿装置を専門メーカーと共同で開発し、従来機と比較してCO2排出量を75%削減可能な装置を開発した。

講演3

14:40～15:10

「耐火物製造工場での省エネの取り組み」

講師：NGKアドレック株式会社

資源エネルギー庁長官賞
耐火物製造工場の省エネ活動である。2020年度の生産量減・エネルギー価格高騰に対し、省エネ活動で年間1562kl削減(原油換算)し、エネルギー原単位を21.7%改善した。

講演4

15:15～15:45

**「現場の意識改革と見える化によるエネルギーの
日常管理活動」**

講師：トヨタ車体株式会社 富士松工場

経済産業大臣賞
生産現場主体でエネルギー管理のしくみづくりに挑戦。現場管理者への省エネ教育とエネルギー使用状況の自動判定ツールを使った日々のロス管理と改善により、原油換算で98.7kl削減した。

講演5

15:50～16:20

**「車両製造CN達成に向けた仕入れ先様との
共創活動」**

講師：トヨタ自動車株式会社

省エネルギーセンター会長賞
仕入れ先様への省エネ支援「CN共創活動」の事例である。本活動により各仕入れ先様における「担当者任せ」「費用対効果の限界」といった課題を解決し、CN活動の自律化に貢献している。

問い合わせ先

一般財団法人省エネルギーセンター 東海支部 担当(相模・高井)

TEL: 052-232-2216

E-mail: tsym@eccj.or.jp

〒460-0002
名古屋市中区丸の内
3-23-28イトービル

「省エネ・脱炭素戦略を発揮する企業の事例紹介!」

8月28日(2回目)
カリキュラム

内容やタイトルが変更になる場合があります。

講演1

13:30~14:00

「2016年から続く製薬工場全体での 継続的な省エネルギーの取り組み」

講師: 日医工岐阜工場株式会社
中部電力ミライズ株式会社

省エネルギーセンター会長賞

2020年度CO2排出量を2016年度比20%削減するという目標の下、一般的なユーティリティ設備の運用を改善し更に高効率化更新およびボイラーの燃料転換も実施したことで21.4%削減し目標を達成した。

講演2

14:05~14:35

「洗浄機の間欠運転化(正味稼働時間高効率化)による省エネ」

講師: 株式会社アイシン

省エネルギーセンター会長賞

設備で使う電力をユニット毎に計測し「正味」「付帯」に層別して既存の設備を大きく変えずに付帯の電力を徹底的に低減する活動(1サイクル電力低減活動)代表事例: 洗浄機の流し方改善+間欠運転

講演3

14:40~15:10

「諏訪南事業所ユーティリティ設備における 省エネ活動」

講師: セイコーエプソン株式会社
中部電力ミライズ株式会社

資源エネルギー庁長官賞

2018~2023年(6ヵ年)において省エネ活動に取り組み、パートナーとの協業によって、有効な施策を導き出し、製造・開発環境を維持した状態で省エネ化を達成した。

講演4

15:15~15:45

「エネルギーの『ムダ』に着目した省エネ推進手法」

講師: トヨタ自動車株式会社

工場におけるエネルギーの『ムダ』に着目した省エネアイテムの創出手法を紹介する。
本手法を用い俯瞰的・戦略的に省エネを推進することで、競争力向上と省エネの両立が可能となる。

受講要領

※本セミナーは、Web会議・セミナーツール「Zoom」によるLIVE配信のセミナーです

開催日3日前には事務局よりZOOMの招待メールを送信いたします 資料は事前にお送りします

- ◆**受講条件**: インターネット環境の整ったパソコンやタブレット等をご用意ください。
- ◆**申込方法**: 右の二次元コードをクリックし、表示された申込みフォーム(Googleフォーム)よりお申し込みください。もしくは二次元コードをスマホなどで読み込んで申込みフォームを表示させてお申し込み下さい。

◆**受講料**: **一般:24,200円 賛助会員:17,600円**

(税込) (2日間 資料代込み・資料は各開催日1週間前にお送りします)

賛助会員 ⇒ <https://www.eccj.or.jp/member/index.php>

※エネルギー使用合理化専門員、診断プロ倶楽部会員は賛助会員料金で受講いただけます

- ◆**支払方法**: 請求書をメールにてお送りいたします。6月19日(木)までに指定口座へお振込みください。(振込手数料はご負担願います)

- ◆**注意事項**: キャンセルは6月18日(水)までです。
それ以降のキャンセルについては、理由の如何を問わず
受講料はご請求させていただきますので代理の方の参加をご検討下さい。
なお、講座のご視聴はお申し込みいただいた方に限らせていただきます。



申し込み
締めきり日
6/20